

## 2. 洗淨

### ④ 泥落とし



標本ごとに被災状況を確認し、状況に応じた処理方法を検討しました。洗淨作業が必要と判断された約590点の標本は、真水を入れたコンテナに1点ずつ沈め、筆で泥などの汚れを丁寧に落としました。洗淨作業が不要と判断された約10点の標本は、重石と乾燥を行いました。

腐敗などにより外れてしまった植物破片は、ピンセットを使って回収し、別の標本の破片との取り違えを防ぐために標本番号を記入した封筒に入れ、それぞれのコンテナに貼り付けました。

### ⑤ 塩抜き



新しい水の入ったコンテナに移し、1時間～2時間程度浸し、塩抜きをしました。

## 一点一点 状態にあわせた 修復作業

### ⑥ 水切り

植物体の損傷を防ぐため、台紙ごと斜めにしてゆっくり水から引き上げました。植物体を綺麗に水切りするために2人1組で作業にあたりました。引き上げた標本を新しい新聞紙の上に置き、その上から「あて布」をかぶせました。

